

2023年度 法学研究科入学試験問題（修士課程）（春期）

民事法学・公法学専攻（英語）

受験番号		氏名	
------	--	----	--

以下の英文を和訳しなさい。イタリックによる強調は無視してよい。

出典： Neil Richards & Woodrow Hartzog, "Taking Trust Seriously in Privacy Law", *Stanford Technology Law Review*, vol. 19, issue 3, pp. 431-472, pp. 436-437.

答案用紙別紙

2023 年度 法学研究科入学試験問題（修士課程）（春期）

政治学専攻（英 語）

受験 番号		氏 名	
----------	--	--------	--

次の点に留意しつつ、以下の英文の内容を 500-600 字程度の日本語に要約しなさい。

- (1)なるべく読みやすく正確な日本語で書くこと。
- (2)議論のキーワードとなっている英単語を和訳し、要約に過不足なく含めること（英語のまま用いるのは不可）。
- (3)研究者の人名、専門・学術用語は、日本のアカデミズムで一般的に使用されている日本語に翻訳すること。

（出典） Anthony Elliott (2022) *Contemporary Social Theory: An Introduction* (Third edition).
London/New York: Routledge, pp.245-246.

答案用紙別紙

2023 年度 法学研究科入学試験問題（修士課程）（春期）

共 通（中国語）

受験 番号		氏 名	
----------	--	--------	--

次の（1）（2）を日本語に翻訳しなさい。

（1）

（王逸舟「外交語言探問」『国際関係研究』2022 年第 3 期、24-25 頁より）

（2）

（曹聚仁「台湾與台湾人」『前線日報』中華民國 36 年 3 月 18 日）

答案用紙別紙

2023 年度 法学研究科入学試験問題（修士課程）（春期）

民事法学・公法学専攻（ドイツ語）

受験 番号		氏 名	
----------	--	--------	--

以下の文章は、*Oliver Lepsius, Kontextualisierung als Aufgabe der Rechtswissenschaft, in: Juristenzeitung (JZ) 2019, S. 793 ff.* から抜粋された文章である。この文章を最後まで読み、何について論述されたものであるかを全体的に把握・理解した上で、和訳しなさい。

2023 年度 法学研究科入学試験問題（修士課程）（春期）

共 通（朝鮮語）

受 験 番 号		氏 名	
------------------	--	--------	--

次の文章 1 と 2 を両方とも日本語に翻訳しなさい。

1.

2.

1,2 とも出典：「労働新聞」2022 年 10 月 16 日付

答案用紙別紙

2023 年度 法学研究科入学試験問題（修士課程）（春期）

共 通（日本語）

受験番号		氏名	
------	--	----	--

発禁本に関する以下の文章を読み、問いに答えなさい。

- 問一 傍線部①のように言えるのは何故か、説明しなさい（五～十行程度）。
- 問二 傍線部②はいかなる意味か、説明しなさい（五～十行程度）。
- 問三 傍線部③の意味を説明した上で、この疑問に対する自身の意見を述べなさい（十行程度）。

（野崎 欽「西洋発禁本事情」同『われわれはみな外国人である』（五柳書院、2007年）所収（初出・2002年）より。出題に当たり、構成及び表記を一部改めている。）

答案用紙別紙